

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成28年4月

福井県知事 西川 一誠

農林水産部長 中村 保博

28年度目標（30年度目標）

28年度の施策

1 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

◇食料産業パワーアップ

○競争力を高める福井米づくり

- ・「ポストこしひかり」の現地実証栽培を県内25か所まで拡大して実施し、米の専門家による食味評価を行うことにより、候補を1種に絞り込みます。
- ・食や流通、マスメディアなどの専門家を集めた「ポストこしひかり」ブランド化戦略会議を6月に設置し、ブランド化戦略を策定します。
- ・農地の集積・集約を進め、100ha規模のメガファームへの規模拡大と経営力を向上します。
(平成27年度 3組織増 累計8組織)

4組織増 累計12組織（累計20組織）

○九頭竜川地域 農と水の振興ビジョンの推進

- ・夜間かんがいと農薬の使用量を減らしたコシヒカリの生産を、パイプライン通水エリアの全域で実施します。
(平成 27 年度 953ha 増 累計 1,828ha)

2,672ha 増 累計 4,500ha (累計 4,500ha)

- ・三里浜砂丘地でメロン、コカブ、ラッキョウ等に加えて、アスパラガスなどの新規品目の導入をすすめる、園芸生産を拡大します。
(平成 27 年度 10ha 増 累計 148ha)

12ha 増 累計 160ha (累計 180ha)

- ・日本一の生産基盤を活かした農業について、教科書への採用の働きかけを行います。また、九頭竜川地域のパイプラインを、地域の児童の学習に活用します。(平成 27 年度 —)

学習会の開催校数 41 校 (85 校)

○福井の野菜・果物をもっと市場へ

- ・周年出荷を目指した大規模園芸施設でミディトマト、青ネギ等の生産を拡大し、関西中心に販売します。(平成 27 年度 270 t)

470 t (790 t)

- ・水田地域において、ネギ、キャベツ等の生産を行う集落営農組織等を育成し、栽培面積、販売額を拡大します。
(平成 27 年度 栽培面積 144ha)

50ha 増 累計 194ha (累計 300ha)

- ・ブドウの作付を拡大し贈答用のセット販売を行うなど、シャインマスカットや藤稔等の生産・販売を拡大します。
(平成 27 年度 37 t)

60 t (140 t)

- ・企業と共働して、地中熱や遠赤外線を使った施設園芸の冷暖房経費の低コスト化技術を研究・実証します。

○「福井百歳やさい」の生産拡大

- ・越前白茎ごぼう、菜おけ、吉川ナスなど「福井百歳やさい」の生産面積拡大を支援するとともに、直売所や福井ゆかりの店への販売に加え農家民宿等への食材提供を促進します。
(平成 27 年度 2.4ha 増 累計 12ha)

2.5ha 増 累計 14.5ha (累計 20ha)

○畜産物の生産・販売拡大

- ・若狭牛の導入支援や飼料用米の活用により、三ツ星若狭牛の生産・販売を拡大します。(平成 27 年度 2.5 億円)

2.7 億円 (3 億円)

- ・卵も肉もおいしい新たな福井県産の鶏を農家で飼育・実証し、福井国体の開催までにブランド化を進めることにより、生産者の所得向上につなげます。

○6次産業のスケールアップ

- ・百貨店や専門家等と協力しながら、地域資源を活用した新商品の開発や改良を行うとともに、食品加工施設整備の支援等により、6次化商品の販売額を増やします。(平成 27 年度 1.7 億円)

2.1 億 (3.1 億円)

◇「里山里海湖ビジネス」の新展開【部局連携】

○中山間産業の新スタイル

- ・農地の維持管理が困難な中山間地域等においてJA等による**広域作業受託組織**を育成し、耕作放棄を防ぎます。
(平成27年度 3組織増 累計4組織)

2組織増 累計6組織 (累計10組織)

- ・中山間地域へ収益性の高い**施設園芸**や、鳥獣被害の少ない**果樹栽培**を推進します。(平成27年度 10か所、1ha)

13か所増 累計23か所 (4年間計 60か所)
2ha増 累計3ha (4年間計 9ha)

- ・**特用林産物**については、ジャンボしいたけこうふくだけ(香福茸)、菊炭など付加価値が高いものや、くず、コウゾ、ウルシなど伝統を支える品目を支援し、生産・販売を拡大します。(平成27年度 5.7億円)

6.3億円 (7.5億円)

○福井型・新グリーンツーリズム

- ・ミニ農家レストラン、ミニ直売所、体験交流型農園、オーベルジュの整備を支援することにより、里山里海湖ビジネスを推進します。
(平成27年度 30か所増 累計44か所)

30か所増 累計74か所 (累計134か所)

- ・漁業体験メニューの拡充や設備改修等により**さとうみの宿**の売上額を増加させます。(平成27年度 37億円)

38億円 (40億円)

- ・県内3箇所を設定した**トレイルコース**でのイベントの開催や、県内各地で開催されるトレイルイベントを対象としたポイントラリーを実施します。また、ふるさと百景などの地域資源の活用による誘客を進めます。(平成27年度 1千人)

年間1万人 (年間2万人)

○鳥獣の被害対策

- ・被害の実態に応じた電気柵・金網柵等の新規整備や更新、地域ぐるみの追い払い活動等を行い、被害防止を促進し、**農作物被害面積**を減らします。(平成 27 年度 (見込) 250ha)

200ha 以下 (150ha 以下)

- ・シカの捕獲技術の向上を図るための研修会の開催や優良捕獲者の登録・派遣を行う人材バンクの利用促進により、捕獲体制を強化し、**有害鳥獣捕獲頭数**を増やします。
(平成 27 年度 (見込) 18,000 頭)

19,000 頭 (21,000 頭)

◇「ふくい食ブランド」を地消・外商【部局連携】

○日本でいちばんおいしい学校給食へ

- ・**学校給食畑**での畑作体験の促進や和食・郷土料理を取り入れた地産地消給食の導入を進めます。また、子供たちのごはん食を中心とした食生活と農作業を手伝う環境づくりを進め、食と農業に対する認識を深めます。
(平成 27 年度 132 校)

150 校 (191 校 (全校))

○福井ゆかりの店ネットワーク

- ・大都市圏で県産食材のPRや、販路拡大につなげる「福井ゆかりの店」を開拓します。(平成 27 年度 178 店)

22 店増 累計 200 店 (4 年間計 250 店)

○海外に売り込む「福井の食」

- ・「ふくい食輸出サポートセンター」を新たに設置し、農林水産業、商工、観光の関係者が一体となってシンガポールや香港、台湾などで食文化提案会や商談会、物産展を開催します。本県の食材を取り扱う飲食店を開拓し、食品輸出額を拡大します。

(平成 27 年度 飲食店 8 店増 累計 10 店)

7 店増 累計 17 店 (累計 30 店)

◇ もうかる漁業へ転換加速

○里山里海湖の「宝」を福井ブランドへ

- ・規格、品質で厳選した「越前がに 極」の新たなタグを作成し、最上級ブランドとしての地位を確立します。

- ・日本一の生産地を目標とし、国内外で需要の高いトラウトサーモンの種苗生産施設、大型養殖施設の整備を支援します。

(平成 27 年度 1 か所増 累計 2 か所)

1 か所増 累計 3 か所 (累計 4 か所)

○地魚の加工・流通拡大

- ・敦賀市に完成した水産加工施設から、地魚を利用したフィレなどの冷凍加工品を出荷するとともに、福井ゆかりの店や首都圏での商談会等を活用し加工品販売額を増加させます。

(平成 27 年度 375 億円)

380 億円 (395 億円)

○水産学術産業拠点設置を検討

- ・基本構想検討委員会を年 4 回開催し、資源管理や新たな生産・加工技術の研究、国際的な視野を持つ人材の育成を行う水産学術産業拠点の設置に向けた基本構想を策定します。

◇森を市場にもっと直結

○県産材をフル活用

- ・ **コミュニティ林業**や民有林と県有林が一体となった木材生産団地を拡大し、山ぎわ等の間伐を進め、県産材の生産を拡大します。また、主要道路や景勝地周辺等での間伐を進めます。
(平成 27 年度 20 集落増 累計 75 集落)

20 集落増 累計 95 集落 (累計 135 集落)

- ・ 人工乾燥施設の導入を毎年 1 基、3 年間 (H27~29) 支援し、工務店が求める品質の確かな人工乾燥材の生産を増やし、**県産柱材の利用**を拡大します。
(平成 27 年度 3,350 m³)

4,800 m³ (6,800 m³)

- ・ A材の需要を開拓するため、商業施設や児童施設での木造・木質化やマンション内装材、オフィス家具等、新たに開発した県産材製品の都市圏などへの販路開拓を進めます。
- ・ 林地残材や薪等を販売できる「**山の市場**」を拡大するとともに、自伐林家の育成を通じ利用者を増加させます。また、イベントの開催により都市部との交流も進めます。
(平成 27 年度 販売額 150 万円)

400 万円 (800 万円)

- ・ 山から搬出した間伐材を A、B、C 材に選別、効率的に出荷するための **ウッドターミナル等**を整備し、流通の低コスト化により木質バイオマスへの安定供給を着実に進めます。
(平成 27 年度 取扱量 10,000 m³)

35,000 m³ (80,000 m³)

- ・ G P S を活用した境界の測量等に対して支援し、**山ぎわの森林境界の確認**を加速します。(平成 27 年度 -)

1,000ha (3 年間計 5,000ha)

2 福井から人材育成

◇産業人材の育成・誘致システム

○県内外からの誘致を強化

- ・県内外での就労相談会や高校等訪問を実施し、U I ターン者を対象とした研修や奨励金制度のPRにより、県内外から人材を確保します。
- ・直売所や地域の祭りへの参加、レクリエーションなど、県内外の研修生が楽しめるプログラムを実施します。

○人材育成カレッジなど研修体制を充実・強化

- ・園芸カレッジの実践研修や県独自の給付金の活用により、生産技術や経営能力を有する**新規就農者**を確保します。
- ・農業系高校などに対する最先端技術の出前講座や体験学習により、将来の就農に向けた意識付けを行います。
(平成 27 年度 80 人)

90 人 累計 170 人 (4 年間計 350 人)

- ・ふくい農業ビジネスセンターを開設し、小規模から大規模に至る全ての農業者を対象とした様々な研修や異業種人材の交流を通して、メガファームの経営者や、**新たな農業ビジネスを実践する人材**を育成します。(平成 27 年度 —)

40 人 (3 年間計 140 人)

- ・ふくい水産カレッジの運営や短期研修制度、定着資金貸付制度を強化することで、**新規漁業就業者**を確保します。
(平成 27 年度 21 人)

20 人 累計 41 人 (4 年間計 80 人)

- ・ふくい林業カレッジを開設し、若い世代の人材を全国から募り、伐採・搬出技術や林業機械の資格取得のための研修などを通じて、**新規林業就業者**を確保・育成します。
(平成 27 年度 40 人)

40 人 累計 80 人 (4 年間計 180 人)

3 日本一の安全・安心

◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】

○ハード・ソフトの県土強靱化

- ・地元と共動して農業水利施設の点検・管理体制を強化し、災害を未然に防止するとともに、機能診断に基づく機能保全計画を策定し、施設の長寿命化対策を徹底します。

(平成 27 年度 46 施設増 累計 280 施設)

50 施設増 累計 330 施設 (累計 400 施設)

4 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

◇元気な里山里海湖【部局連携】

○福井の豊かな里山里海湖を次世代に

- ・水田魚道などの生態系保全や植栽などの農村景観保全に取り組む集落数を拡大し、豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に引き継ぎます。

(平成 27 年度 168 集落増 累計 718 集落)

142 集落増 累計 860 集落 (累計 1,100 集落)

5 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

◇県民総参加の福井国体【部局連携】

○花づくり活動の推進

- ・国体会場等へのアクセス道路沿い等において、花や花木を植栽する花の回廊づくりを全市町で進めます。

- ・みどりと花の県民運動大会を、平成 29 年度に本県で開催する全国花のまちづくり大会のプレ大会と位置づけ、規模を拡大して実施し、国体開催に向けた花づくり活動の機運向上につなげます。